

令和6年度

# 小・中学生フォーラム in 早稲田小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月23日（水）、早稲田小学校（早稲田南町25、校長：波多江誠）の6年1組31名、2組30名、3組32名が、「多文化共生への一歩」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは日本人と外国人が互いに快適に暮らすためにどのようなことが必要であるかについて、文化や言語の違い、ルールやマナー、食事など様々な視点で調べて改善策を考えて発表しました。その一つとして、日本のマナーについて4か国語で説明したオリジナルのパンフレットは、本物さながらの出来栄で区長も感心していました。

今回のフォーラムは、早稲田小学校の卒業生で、陸上競技の東京五輪代表でもあるト部蘭選手もゲストとして参加され、児童の発表に耳を傾け、海外遠征時の食文化の違いなど、ご自身の体験談をお話していただきました。

区長からは、新宿区が行っている取組についての紹介があり、多文化共生社会の実現に向けて根気強く周知していく必要があると話がありました。自分たちの身近なところから多文化共生社会の実現について考え、発信する良いきっかけとなる有意義なフォーラムとなりました。

